

1. 穀類の部

対象農産物		化学合成農薬使用回数 (成分回数)		化学肥料使用量 (窒素成分 kg/10a)		適用品種	適用地域
品目名	作型等	特裁	慣行	特裁	慣行		
米	早期	9	18	3.5	7.0	コシヒカリ等	県内全域
	普通期	11	23	5.5	11.0	ヒヨクモチ・ヒノヒカリ等	県内全域
麦類	小麦	4	8	7.0	14.0	シロガネコムギ等	県内全域
	大麦	4	8	5.0	10.0	あまぎ二条等	県内全域
大豆	秋大豆	5	11	0.0	0.0	フクユタカ・むらゆたか等	県内全域

注：米の採種圃において、「環境保全型農業直接支払交付金実施要領」（平成23年4月1日22生産第10954号 農林水産事務次官依命通知）に基づき、環境保全型農業直接支払交付金の交付の対象となる活動に取り組む場合は、米の慣行基準を基準とする。

注：麦の後作として水稻を栽培する場合において、すき込んだ麦わらの分解促進のために施用する窒素成分（化学肥料由来）については、原則として麦わらのすき込み開始後3年間に限り、窒素成分2.5kg/10aを上限にカウントの対象から除くことができるものとする。  
ただし、『化学肥料使用せず』（登録区分A及びC）として登録を受ける場合には、この項の適用はできないものとする。

注：水稻については、排水、冠水等による生態系への影響を回避するため、「椿油かす」（茶実を原料にするものを含む）は、使用できないものとする。

2. 野菜の部

対象農産物		化学合成農薬使用回数 (成分回数)		化学肥料使用量 (窒素成分 kg/10a)		適用品種	適用地域	
品目名	作型等	特裁	慣行	特裁	慣行			
いちご	促成	23	47	12.2	25.0	全品種	県内全域	
	土耕 高設	23	47	17.5	35.0	全品種	県内全域	
なす	促成	30	60	35.0	70.0	全品種	県内全域	
	夏秋	21	42	21.0	42.0	全品種	県内全域	
きゅうり	促成	17	35	21.0	42.0	全品種	県内全域	
	長期	32	64	27.5	55.0	全品種	県内全域	
	抑制	15	30	15.5	31.0	全品種	県内全域	
	半促成	短期	16	32	17.5	35.0	全品種	県内全域
		長期	18	37	20.0	40.0	全品種	県内全域
	夏秋	15	30	20.0	40.0	全品種	県内全域	
長期	26	52	20.0	40.0	全品種	県内全域		
丸トマト	促成	30	60	19.5	39.0	全品種	県内全域	
	抑制	19	38	12.5	25.0	全品種	県内全域	
	夏秋	21	42	16.0	32.0	全品種	県内全域	
ミニトマト	促成	30	60	19.5	39.0	全品種	県内全域	
	抑制	19	38	14.0	28.0	全品種	県内全域	
	夏秋	19	38	19.5	39.0	全品種	県内全域	
メロン	抑制	5	11	4.0	8.0	全品種	県内全域	
	半促成	7	15	7.5	15.0	全品種	県内全域	
野菜ウリ	半促成	6	12	7.5	15.0	全品種	県内全域	
こねぎ	春作型（播種時期3～4月）	1作当たり6	1作当たり12	1作当たり6.0	1作当たり12.0	全品種	県内全域	
	夏秋作型（播種時期5～9月）	1作当たり5	1作当たり11	1作当たり6.0	1作当たり12.0	全品種	県内全域	
	冬作型（播種時期10～2月）	1作当たり5	1作当たり10	1作当たり8.5	1作当たり17.0	全品種	県内全域	
葉ねぎ	露地	1作当たり6	1作当たり12	1作当たり12.5	25.0	全品種	県内全域	
	春どり・夏どり 秋冬どり	1作当たり5	1作当たり11	1作当たり12.5	25.0	全品種	県内全域	
アスパラガス	長期どり半促成 (2年生以降)	10	20	25.0	50.0	全品種	県内全域	
はくさい	秋冬どり	3	7	15.0	30.0	全品種	県内全域	
	春どり(トンネル)	5	11	15.0	30.0	全品種	県内全域	
キャベツ	秋どり	6	13	12.5	25.0	全品種	県内全域	
	冬どり	4	9	15.5	31.0	全品種	県内全域	
	春どり	7	14	8.0	16.0	全品種	県内全域	
レタス	秋どり	6	13	10.0	20.0	全品種	県内全域	
	冬どり	5	11	9.0	18.0	全品種	県内全域	
	春どり	6	12	10.0	20.0	全品種	県内全域	
チンゲンサイ	周年	1作当たり3	1作当たり6	1作当たり5.0	1作当たり10	全品種	県内全域	
こまつな	周年・雨よけ	1作当たり4	1作当たり8	1作当たり3.5	1作当たり7	全品種	県内全域	
ほうれんそう	雨よけ	夏秋	1作当たり3	1作当たり7	1作当たり7.5	1作当たり15	全品種	県内全域
		冬春	1作当たり2	1作当たり4	1作当たり7.5	1作当たり15	全品種	県内全域
	露地	夏秋	1作当たり3	1作当たり7	1作当たり10.0	1作当たり20	全品種	県内全域
		冬春	1作当たり2	1作当たり4	1作当たり10.0	1作当たり20	全品種	県内全域

対象農産物		化学合成農薬使用回数 (成分回数)		化学肥料使用量 (窒素成分 kg/10a)		適用品種	適用地域	
品目名	作型等	特栽	慣行	特栽	慣行			
たまねぎ	トンネル	7	15	10.0	20.0	全品種	県内全域	
	早生(マルチ)	14	29	10.0	20.0	全品種	県内全域	
	早生(露地)	19	39	10.0	24.0	全品種	県内全域	
	中晩生	23	47	12.5	25.0	全品種	県内全域	
	冬どり	13	27	7.5	15.0	全品種	県内全域	
えんどう	夏まき露地	7	15	3.0	6.0	全品種	県内全域	
そらまめ	秋まき	3	7	3.5	7.0	全品種	県内全域	
いんげん	ハウス抑制	5	11	10.0	20.0	全品種	県内全域	
	露地(平坦部)	4	8	10.0	20.0	全品種	県内全域	
	夏秋(中山間)	11	22	10.0	20.0	全品種	県内全域	
ピーマン	夏秋(中山間)	14	28	20.0	40.0	全品種	県内全域	
ブロッコリー	冬春どり	7	14	12.5	25.0	全品種	県内全域	
にら	ハウス	1年目	9	18	17.5	35.0	全品種	県内全域
		2年目	6	12	17.5	35.0	全品種	県内全域
	雨よけ	1年目	9	18	17.5	35.0	全品種	県内全域
		2年目	3	6	17.5	35.0	全品種	県内全域
れんこん	ハウス促成	2	4	8.5	17.0	全品種	県内全域	
	普通	3	6	17.5	35.0	全品種	県内全域	
かんしょ	早掘り	2	5	2.5	5.0	全品種	県内全域	
	普通	3	6	2.5	5.0	全品種	県内全域	
ばれいしょ	冬作・春作	4	8	9.0	18.0	全品種	県内全域	
	秋作	5	10	10.0	20.0	全品種	県内全域	
根深ねぎ	秋冬どり	5	11	12.5	25.0	全品種	県内全域	
	春どり	6	12	12.5	25.0	全品種	県内全域	
わけぎ	周年	3	6	10.0	20.0	全品種	県内全域	
すいか	ハウス	8	17	10.0	20.0	全品種	県内全域	
	露地	7	15	10.0	20.0	全品種	県内全域	
かぼちゃ	普通	10	21	9.5	19.0	全品種	県内全域	
にがうり	ハウス	9	19	18.0	36.0	全品種	県内全域	
	露地	8	17	18.0	36.0	全品種	県内全域	
にんにく	普通(黒マルチ)	4	8	11.0	22.0	全品種	県内全域	
しょうが	普通	6	12	15.0	30.0	全品種	県内全域	
さといも	普通(黒マルチ)	3	7	12.5	25.0	全品種	県内全域	
スイートコーン	普通(黒マルチ)	4	9	16.0	32.0	全品種	県内全域	
ダイコン	秋まき冬どり	4	8	10.0	20.0	全品種	県内全域	
かぶ	秋まき冬どり	3	6	7.0	14.0	全品種	県内全域	
にんじん	秋まき冬どり	4	9	11.0	22.0	全品種	県内全域	
ベビーリーフ (たかな、こまつな、かつ、ビート)	周年	1作当たり1	1作当たり3	1作当たり2.5	1作当たり5	全品種	県内全域	
たかな	秋まき	3	6	15.0	30.0	全品種	県内全域	
やまのいも (じねんじょ)	露地	5	10	15.0	30.0	全品種	県内全域	
しそ	ハウス(年1作どり)	17	35	32.5	65.0	全品種	県内全域	
	ハウス(年2作どり)	10	20	21.0	42.0	全品種	県内全域	
ミズナ	周年(施設・雨よけ)	1作当たり4	1作当たり8	4.5	9.0	全品種	県内全域	
	冬どり(露地)	3	6	10.0	20.0	全品種	県内全域	
しゅんぎく	雨よけ 冬春どり(一斉収穫)	1作当たり4	1作当たり8	1作当たり7.5	1作当たり15	全品種	県内全域	

注：れんこんについては、排水、冠水等による生態系への影響を回避するため、「椿油かす」

(茶実を原料にするものを含む)は、使用できないものとする。

注：きゅうり促成(短期)は、栽培期間9月～2月(目安)、収穫期間4ヶ月以内の作型を示し、それ以上の収穫期間の場合は、長期とする。

注：きゅうり半促成(短期)は、栽培期間2月～6月(目安)、収穫期間3ヶ月以内の作型を示し、それ以上の収穫期間の場合は、長期とする。

注：きゅうり夏秋(短期)は、平坦地域で栽培期間6月～11月(目安)、収穫期間4ヶ月以内の作型を示す。

なお、きゅうり夏秋(長期)は、中山間地域での栽培とする。

注：たまねぎ早生(マルチ)はたまねぎ極早生作型を含める。

3. 果実の部

対象農産物		化学合成農薬使用回数 (成分回数)		化学肥料使用量 (窒素成分 kg/10a)		適用品種	適用地域	
品目名	作型等	特栽	慣行	特栽	慣行			
温州みかん	露地	極早生	8	16	10.0	20.0	全品種	県内全域
		早生	8	16	10.0	20.0	全品種	県内全域
		普通	8	16	12.0	24.0	全品種	県内全域
ハウスみかん	超早期加温型	7	14	6.0	12.0	全品種	県内全域	
	早期加温型	7	14	7.0	14.0	全品種	県内全域	
	後期加温型	7	14	9.0	18.0	全品種	県内全域	
中晩生柑きつ	露地	6	12	15.0	30.0	全品種	県内全域	
	ハウス	7	15	15.0	30.0	全品種	県内全域	
日本なし	露地・トンネル	17	35	15.0	30.0	全品種	県内全域	
	ハウス	11	23	15.0	30.0	全品種	県内全域	
ぶどう	露地	7	15	4.0	8.0	全品種	県内全域	
	ハウス	6	12	4.0	8.0	全品種	県内全域	
かき		6	12	10.0	20.0	全品種	県内全域	
モモ	露地	10	21	5.0	10.0	全品種	県内全域	
	ハウス	7	14	5.0	10.0	全品種	県内全域	
スモモ	露地	6	12	7.0	14.0	全品種	県内全域	
	ハウス	4	9	7.0	14.0	全品種	県内全域	
うめ		6	12	6.0	12.0	全品種	県内全域	
くり		2	4	6.0	12.0	全品種	県内全域	
びわ		2	5	10.0	20.0	全品種	県内全域	
キウイフルーツ		5	10	10.0	20.0	全品種	県内全域	
イチジク		5	11	6.0	12.0	全品種	県内全域	
キンカン	ハウス	8	17	15.0	30.0	全品種	県内全域	
マンゴー	ハウス	6	12	9.5	19.0	全品種	県内全域	
レモン	露地	8	16	15.0	30.0	全品種	県内全域	
	ハウス	7	14	15.0	30.0	全品種	県内全域	
ライム	露地	8	16	15.0	30.0	全品種	県内全域	
ユズ	露地	7	14	15.0	30.0	全品種	県内全域	
キノス	露地	7	14	15.0	30.0	全品種	県内全域	
ブルーベリー	露地	3	6	4.5	9.0	全品種	県内全域	

注：ハウスみかんの超早期加温型は4～6月出荷、早期加温型は6月下旬～8月中旬出荷、後期加温型は8月下旬以降出荷を指す。

4. 特用作物の部

対象農産物		化学合成農薬使用回数 (成分回数)		化学肥料使用量 (窒素成分 kg/10a)		適用品種	適用地域
品目名	作型等	特栽	慣行	特栽	慣行		
茶		7	14	25.0	50.0	全品種	県内全域

(注) 農薬の使用回数は、散布回数ではなく、栽培期間中(前作の収穫後から当該作の収穫・調製までの期間)に使用した農薬有効成分の延べ使用回数です。(2成分の農薬を1回散布した場合、2回とカウントします。)また、化学肥料の使用量は、10a当たり窒素成分量です。